



ぎんがけい そと い もの 銀河系の外に生き物はいるの

いるかも知れない

たいようけい ほし がぞくしている ぎんがけい は、たいへん 大きな星の集まりです。この ぎんがけい なか
は、たいよう のように自分から 光 を出している、こう星が、約 2000 億個あるといわれてい
ます。

うちゅう そうぞう もできないほど 広く、ぎんがけい のような 大きな星の集まりは、ほかにも、数千億
個もあるといわれています。

ぎんがけい なか い もの ほし はっけん されていませんが、うちゅう には たいよう のような星がた
くさんあるので、わく星があればその中には、地球のように 生き物がすめる星が、あるかも
しれません。

い もの がすめる かんきょう 生き物がすめる環境

い もの が生きていくためには、たいよう の 光、くうき や水、生き物が生きていけるような 適度な
おんど たも が保たれていることが必要です。ちきゅう はこのような かんきょう になっているので、生き物が生
きていけるのです。ほかの星でも、ほし と同じような かんきょう になっていれば、生き物はすめ
ます。

ぎんがけい そと があるたくさんの ぎんが たいよう おな せい だいしゅうだん せい たいよう
のように、いくつかのわく星があると 考えられるので、地球のように、生き物がすめる かんきょう
のわく星があることが、考えられます。（監修・国司 真）

